

(5) 国際交流を先導する地域

経済社会のグローバル化が進む中で、産業面では国際競争力強化の観点などから、近年では東アジアを中心とした海外進出が進み、国際分業体制が定着しつつある。

生活物資の東アジアからの輸入依存も高まり、ビジネス、観光等の様々な人的交流も進んできているなど、九州のみならず我が国の経済発展を図っていくため、東アジア諸国とのより一層の緊密な交流が求められる。

歴史的、地理的に東アジアとの繋がりが強い九州の交流範囲は、韓国との交流を基軸に中国東北部を含めた環日本海から、環黄海、台湾・香港に至る東アジア諸国へと拡大している。そして、東アジアを中心としてアメリカ、ヨーロッパなど世界各地との国際交流が深まっていく。九州は、このような様々な経済圏の核として東アジアとの一体的発展に向けた国際交流を先導する地域を目指していく。



図 東アジア多頻度交流ネットワークイメージ

九州の将来像

安全で安心できる
・ゆとりある暮らし

環境と共生した
循環型社会

豊かな個性が
輝く地域

自立・一体的な
活力ある地域

国際交流を
先導する地域

重点事項

安全な国土・
危機管理の充実

災害を未然に防止するとともに被害を最小限にとどめ、迅速に復旧できるようにする。

災害やテロに備えて危機管理体制を充実する。

陸・海・空の交通安全性を高め、事故やテロの未然防止と被害軽減を図る。

水不足に悩まされることなく安全で安心な水の確保を図る。

自然環境を保全し、新たな再生・創出に取り組む。

廃棄物等の排出抑制、循環的な利用の促進を図る。

環境負荷の低減に資する交通基盤の整備を強化する。

拠点都市の機能高度化

中心市街地の活性化等により、都心の顔となる活力あるまちづくりを進める。

道路渋滞の軽減等により都市内交通の利便性の向上を図る。

都市の緑化の推進や防災安全性の向上等により、安全で快適な
潤いのある都市・居住環境の整備を図る。

多自然居住地域の
生活基盤づくり

拠点都市との交通・情報アクセスを充実する。

自然・歴史等を活かしたゆとりある居住地域を創造する。

高齢化・過疎化に対応した生活基盤の確保を図る。

広域交流ネットワークの
確立

産業経済・地域を支えるため、基幹都市間の3時間圏域の形成を目指す。

交通機関連携による総合的なネットワークの構築を進める。

地域間の交流・連携を促進する。

環黄海・東シナ海を中心と
した国際交流基盤づくり

東アジアのゲートウェイ機能を強化し、東アジア1日交流圏の形成を目指す。

産業から観光まで国際競争力を高める基盤づくりを充実する。

